

# 『一生懸命』幻の新座市議会報告第51弾!



## 2009年

あっという間に過ぎていった1年でした。国の方は政権が交代し、事業仕分けが話題になりました。しかしマニフェスト!と言っている割には「後期高齢者の廃止」も「沖縄の基地の県外移転」もマニフェスト通りにはいかないようです。高速道路を無料にしていくことで、一般道の整備にかかるお金が浮けばいいのですが、保谷・朝霞線を始めとする「多くの住民が望まない道路の整備」は止まりそうもありません。政治とお金の問題も、首相と幹事長がああ調子では民主党にも期待できないと多くの国民が思い始めています。子ども手当は子沢山の家庭には嬉しい手当ですが、財源はどうするのでしょうか。ただでさえ生活が苦しいのに、色々な控除の廃止と抱き合わせでは、子どもがいても増税になる家庭がでてきます。これで消費税が増税されたらたまりませんね

## 行政委員

12月の一般質問では行政委員の報酬の問題を一番目に取り上げました。新座市の行政委員会は6つ。教育委員会・選挙管理委員会・監査委員・農業委員会・公平委員会・固定資産評価審査委員会の6つです。僕が問題にしているのはその内の4つ。例えば、農業委員会の会議は年に12回。会議の平均時間は65分。それなのに、報酬は月額で36000円です。この月額報酬はその会議に欠席しても支払われるのです。しかも内容はお粗末なもの。異議なし!」で時間が過ぎていきます。新座市の農業の未来を考える議題などないのです。この委員会には議会からも4人の委員(政和会、公明、共産、刷新各1名)が出ています。議員一人当たり月2万円の政務調査費のレベルではありません。報酬ですから、領収書もありません。議員のポケットマネーになるのです。二言目には「金がない」といしながら、こういう無駄遣いをしているのが、今の新座市です。

## 行政委員 2

2009年 12月 31日発行

さて、教育委員会はどうでしょう。会議の回数は年間19回(20年度)しかし、会議の平均時間は50分です。委員の報酬は月額54000円。時給40926円の計算になります。議事録には委員の名前はでてこないし、会議の時間からみても議事録から見ても、内容もそれほど高度ではありません。これはどうみても「市民感覚」とは桁が違うようです。選管はどうでしょう。年間の会議数は16回(20年度)、会議の平均時間は30分。それに対する月額報酬は30000円です。時給にすると45000円。一方で監査委員は月額49000円と高いですが、会議が年に29回もあり、その平均時間も3時間20分。仕事の内容も大変で、時給は6082円。これにはまだ納得できます。ここに書いた数字は委員の報酬であり、委員長や委員長代理にはさらに高い報酬がみなさんの税金から支払われているのです。その総額は教育委員会で285万6000円。選管で163万2000円。監査委員で157万2000円。農業委員会で926万4000円。公平委員会で5万6000円。固定資産評価審査委員会で2万8000円となり、その総計は年間1540万8000円となるのです。その内市議会議員5人に払っている総額は231万6000円。給料の二重取り!と言われてもしょうがありません。一人会派「語る会」だからこそ書けることがあるんですね。議員になって、市民感覚を失っていくと、こういうことが当たり前になってしまいます。「当然の報酬じゃあないか」「条例で決まっているんだからしょうがないだろう」「他市より低い報酬だ」という声が議場のあちこちから聞こえてきました。25対1でも市民感覚からするとおかしいものはおかしい。どんなに非難されてもおかしいことはおかしいと、続けていきます。そしてこれからも、市民感覚だけは持ち続けていきたいと思ひます。みんなの応援よろしくお願ひします! たかやん

## ③ 年賀状

われわれ議員は選挙区内で年賀状を自分から出すことはできません。昨年中は本当にお世話になりました。今年もよろしくお祈りします」と、当たり前のことを書くことができないのです。返信は許されていますが、自筆でなくてはなりません。年賀状を自分から出せなくなって6回目のお正月を迎えます。年賀状は返信しか出せませんが、この一生懸命はこれからも毎月発行しみなさんと色々な問題を共有したいと思います。

## ③ 平均年齢

12月議会の一般質問で市内の小中学校の先生たちの平均年齢を資料で要求しました。一番平均年齢の高い小学校は49.6歳。ほぼ50歳です。以下47.7歳、46.8歳と続きます。一方で、一番平均年齢が低い小学校は39.6歳。以下40.0歳、40.0歳、40.1歳と続きます。どうしてこんなに格差があるのでしょうか。中学校は同じ教科による異動が基本ですから、平均年齢に格差がでてしまうがありません。しかし、実際には中学校で一番平均年齢が高い学校は45.5歳。低い学校は41.1歳とその差は僅かに4.4ポイントです。小学校の10.2ポイントがいかに大きな差かが分かります。夏の水泳指導で先生がプールに入らないという話を色んなところで聞きますが、入らないのではなく、入れないのかも知れませんね。困ったものです。

## ③ ブザービート

昔、新座には山田茂という有名な先生がいました。群馬県から新座五中に呼ばれ、そして新座市教育委員会に入り、指導課長として新座全体の先生たちを鍛えました。新座の教育レベルが埼玉県でトップクラスだったのは、この先生の力が大きかったと言われています。その山田先生はバスケットの世界でも有名です。引退後は大好きなお酒を我慢し、ポケットマネーを貯めては毎年、新座市民体育館で開催されている「新座カップ・山田杯」という大会を援助しているのです。この大会は全国から中学生達が集まって、ハイレベルな試合を行うことで有名です。僕も久しぶりにバスケットの試合を見て、中学生たちのキラキラした瞳に感激し、彼らの運動能力の高さに驚きました。そして、その大会の運営の素晴らしさにも感動したのです。

写真は山田杯決勝リーグの中学生たち。小さな子たちが大きな子達と互角以上に戦っているのにビックリしました。パッと見ただけで、運動神経の塊のような子達を何人も見つけました。この中から世界に通用する選手が出てくるかも知れないな。そう思いました。



## ③ お知らせ

毎月恒例の「黒目川の川掃除」ですが、1月は17日の日曜日に行います。時間は9時から11時くらいまでです。集合場所は栗原1丁目公園です。途中参加も大歓迎です。軍手、トンク、ゴミ袋はこちらで用意しています。詳しくはたかやんのホームページ、または携帯にお願いします。2月は7日(日)の予定です。

## たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。1977年から教師として五中・六中・二中で21年間を過ごし98年退職。どの政党にも、どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言を続けている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。障がい者支援団体「よこ糸をつむぐ会」メンバー。黒目川川づくり懇談会代表。石神3丁目在住。趣味はテニス。五中・六中の男女硬式テニス部を率いて、県大会は50回以上、関東大会5回、全国大会2回優勝。同時に学級通信「一生懸命」を20年間発行し続ける。議員日記は6年間毎日更新中。ご感想・ご意見・ご提案をお待ちしています。 たかやん



### たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869

携帯 090-6497-5737

mail: takayanchan@jcom.home.ne.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106